



岡本焼の窯元を見学し
匠の技にふれる



俳句茶屋のところでんは絶品



夏も近づく八十八夜♪
茶摘みを体験

今までのまちあるきを
ちよこつと紹介



ゆっくりゆったり 秋の三豊を歩いてみませんか！

七福求めて ぶら～りみとよ

商工会女性部のまちあるき「七福求めて ぶら～りみとよ」も4年目を迎えました。春と秋に行われているまちあるき。今回のコースも楽しい内容が満載です。三豊のええところを、のんびり少人数であるきませんか。新しい2コースを含む5コースのラインナップで、皆さんのお越しをお待ちしています。

※すべて予約が必要です。
※各コースとも集合時刻は出発時間の15分前となっています。
なお、コースは都合により変更する場合があります。

▶申し込み・問い合わせ 「七福求めて ぶら～りみとよ」事務局(三豊市商工会豊中支所内)
☎ 62-2275 (平日午前9時～午後5時) <http://www.maidookini.jp/>



子ども連れでも参加できるコースです。お気軽にご参加ください。

ワクワクするような
楽しいコースを
ご紹介しま～す



まち歩まナビゲーターの
七福ちゃん

まちあるきの
マスコットキャラクター

どぶろく祭りdeほろ酔い 気分

日時

10月15日(土)
午後3時30分～7時

集合場所

笠田小学校運動場

参加料

1,000円

定員

15人

おすすめポイント



壺谷早苗さん

宇賀神社で古式醸造により作られたどぶろくが、祭りの日に参拝者に振舞われます。ここでしか味わえないお酒を、ぜひ味わってみてください。飲酒される方は、JR本山駅・比地大駅までスタンプが送迎します。秋の夕暮れ、ほろ酔い気分が楽しめます。



宇賀神社のどぶろくの振舞い

コース
生目神社
宇賀神社
(どぶろく祭り)



三豊を知って ほろ酔いとまち あるきを企画



商工会女性部部长
塩田茂登子さん

平成19年4月に商工会が合併し「三豊市商工会女性部」がスタートしました。せっかくなので、何か全体で取り組める企画はないかと考えているときに、県観光振興課が推進している「まちあるき」を知り、女性部の統一事業として、平成20年春から始めました。

「まちあるき」のコース設定では、商工会のつながりを生かして、地域の事業所や住民などに協力をお願いかけました。時には、事業主の奥さんに頼んで協力してもらったり、女性部ならではのやり方で、協力店を増やしてきました。その結果、協力店は80余りになりました。また、なるべく飲食店や小売店をコースの中に盛り込み、立ち寄りやすいようにしています。参加者にも喜ばれますし、いろいろなお店を知ってもらうことは「まちあるき」の目的の一つでもあります。実際に「まちあるき」で立ち寄ったことがきっかけで評判になったり、お客様や注文が増えたお店もあります。

現在、女性部の中心的な事業である「まちあるき」を続けることで、三豊市を知ってもらい、三豊市に来てもらうきっかけになればと思います。そして、それが少しでもまちの活性化につながればと思っています。



のんびりと景色を楽しみながらお弁当



山本のタケノコづくしの昼食



糸で繊細な模様をつける
伝統工芸の手まり



桐下駄の鼻緒づけを体験



寿の辛満載のお弁当



タケノコ掘りはなかなか力がいらいます

潮風の中 古いまち並みを食べ歩き

日時

10月22日(土)
午前11時～午後2時

集合場所

仁尾町文化会館

参加料

1,000円(軽食付き)

定員

15人

おすすめポイント



前川和子さん

路地に入り込むとタイムスリップしたようなトロロな町並みが現れます。ここでは、昔ながらのいろいろな味に出会えます。お店自慢の揚げパンやあつあつプリプリの天ぷらなど、仁尾の定番の味を食歩きしてみてください。

コース
伊藤製パン所
さるしや
植村屋
賀茂神社
藤田水産



路地裏をゆっくりゆったり散策

海の八幡さんと 獅子舞フェスタ

日時

11月6日(日)
午後1時～4時

集合場所

詫間庁舎

参加料

1,500円(軽食付き)

定員

15人

おすすめポイント



青井和代さん

年に一度の勇壮な獅子舞の競演がみられる獅子舞フェスタは迫力満点ですよ。また、地域によって違う獅子の顔立ちや演舞を見比べるのも楽しいかも。好評の海の幸満載のお弁当に焼きたてパン付きます。



迫力ある獅子舞の演舞

コース
宮ノ下商店街
へんこつパン
浪打八幡宮
獅子舞フェスタ
三崎丸(お弁当)

山里の熱き思いを知る 歩き旅

日時

11月24日(木)・29日(火)
午前10時～午後2時

集合場所

財田庁舎

参加料

1,500円(昼食付き)

定員

15人



コース
支所周辺
橋村製麺所
(昼食)
吉池農園
橋城址
鉾八幡宮

おすすめポイント



菅原夕紀子さん

財田町の中心部周辺を散策して、うどん遍路や地元の特産品を紹介します。地元の人たちの暮らしぶりや垣間見るひとときをお過ごしください。



コース途中あちこちでコスモスが見られます

1,240人が
参加した人気の
まちあるき

平成20年春に始まった「まちあるき」は、春と秋の年2回開催しています。今年の春までの総催行数は74回、延べ参加者数は、1,240人と多くの人が参加しています。各コース

三豊市商工会女性部まちあるき

先進的な取り組みに期待

観光ニーズの変化や広域化に伴い、地域間競争が激化している中、県では地域住民が主体となつて観光資源を発掘する「まちづくり型観光」を推進してきました。その結果、県内各地で「まちあるき」が行われるようになりま

県観光振興課 松川直人主任

三豊市の「まちあるき」は、歴史・文化・自然体験など、さまざまな内容で「まちあるき」を実施しています。おもてなしも好評で、県内でも先進的な取り組みだと思えます。今後の更なる発展を期待しています。



栗島で若手芸術家の アートに親しもう

日時

11月27日(日)
午前10時45分〜午後2時45分

集合場所

須田港(詫間町)

参加料

2,000円
(昼食付き・船代別)

定員

15人

おすすめポイント



堤 順子さん

穏やかな島の暮らしと、そこに溶け込んだ芸術家村アーティスト作品とのマッチングは見ごたえがありますよ。島時間を楽しみながら芸術鑑賞はいかがですか。

コース
芸術家村
ぶいぶいガーデン
旧海員学校
民宿いせや
(昼食)



常設展示の作品も見ることができます



時間をかけて コースを練り あげる

現在は軌道にのっている「まちあるき」ですが、始めるまでの道のりは大変だったようです。

「まちあるき」がどのようなものか分からない状態から始めたので、当時開催していた他市の「まちあるき」に何度も参加しては、ノウハウを学びました。同時に、実行委員が中心となり、旧町ごとにコースでまわられるような場所や事業所を拾いだし、その周辺を実際に何度も歩いてみたそうです。歩くからこそ見えてくるものもあり、地元しか知らない情報を聞けたり「こんな所があったのか」といった、新しい発見もあったようです。このようにして、立ち寄り場所を一つひとつ

見つけていきました。また、地元精通している実行委員ならではの情報を聞き出して「コースづくり」につなげていったこともあります。

ガイドについても、地元詳しい人をお願いするようになっています。その地域に住んでいる人や、立ち寄り先のお店の人に話をしてもらえば、地元ならではの情報を聞くことが出来ます。地域密着型の「まちあるき」だからこそ人気があるのかもしれません。

そして下見やリハーサルを繰り返して、やっとコースが出来上がります。初年度は、この一連の準備に丸1年かかったそうです。

今でも、新しいコースをつくることは大変ですが、「参加者に楽しんでもらいたい」その思いで、毎回新しいコースを企画しているそうです。

みんなにもっと 来てもらいたい

人と人とのつながりや商工会としてのつながりの中で作り上げてきた「まちあるき」。手間をかけて一つひとつ作り上げてきたコースは、全部で22コースになりました。これらは「まちあるき」の歴史であり、大切な財産でもあります。

三豊の「まちあるき」は、県内でも「おもてなしがすごい」と高い評価を受けて



まちあるき実行委員長
近藤美代子さん

います。実行委員には「楽に楽しく、無理をせずにやりましょう」と言っているのですが、やっていくうちに、もっともつと、どんなもてなすようになったようです。サービス精神旺盛な、三豊の気質なのかもしれないですね。また、女性部ならではの細かい気配りも、評価につながっているのだと思います。

合併前には交流のなかった会員同士が「まちあるき」を通して仲良くなり、連帯感が生まれたというメリットもありました。

4年目を迎えた「まちあるき」。現状では受け入れる人数に限られていますので、より多くの人に参加してもらえらる体制づくりが、今後の課題になると思います。また、ガイドマップを作ることで、ガイド無しでもお客様自身がマップを見ながらまわられるコースづくりを、今後検討していけたらと思っています。

女性部の「まちあるき」これからも頑張ります。



当日は商工会女性部の皆さんが案内してくれます

お待ちしてま〜す!!